



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第65号



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

2月に入り寒さも厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

全国的にインフルエンザが猛威をふるっていますね。手洗い、うがい、睡眠・栄養十分にとり、インフルエンザウィルスを撃退していきましょう。

第70回ワーキング会議 (1/24)

草津市立まちづくりセンター 301

初参加5名を含む 26名で行いました。

〈参加職種：医師・看護師・保健師・薬剤師・介護支援専門員・医薬品関係者・行政など〉。

今回のワーキングでは、褥瘡の原因のひとつである「おむつによるスキントラブルの予防ワンポイントアドバイス」「スキンテア（皮膚裂傷）の予防」についてお話いただきました。おむつ装着時のポイント尿パットの活用方法などアドバイスをもとに実際におむつ装着体験しました。

スキンテア（皮膚裂傷）の発生を予防するには？

- ☆手足を保護しましょう：アームカバー、レッグカバー等の使用
- ☆ぶつかりやすい場所にカバーをつけ、環境を整えましょう
- ☆優しく体を洗いましょう ☆保湿剤を塗りましょう
- ☆食事と水分をしっかりととりましょう
- ☆体をひっぱらないようにしましょう
- ☆手足を下から支えるように持ちましょう

詳しくは日本創傷・オストミー・失禁管理学会のホームページ

http://www.jwocom.org/pdf/best_practice_furoku.pdf 参照

おむつ装着体験



尿・便漏れを予防するためには おむつのギャザーがポイント！

- ☆ギャザーをしっかり立てる
- ☆尿パットはギャザーの中に収める



目指せ「褥瘡ゼロ！」「死ぬまで自分でトイレ！」

今日学んだ知識・技術を各所属で実践していきましょう☆

(グループワークから)

- ・褥瘡を作らないことが大切。マットレスを良いものにしてもおむつの当て方、ベッドのギャッチアップの仕方が悪ければ褥瘡が再発してしまう。今日教えていただいたアドバイスをもとにもう一度各所属でおむつのあて方が正しいのか確認したい。
- ・おむつや尿取りパットの効果的な使い方を知ることで衛生材料費の削減にもつながる。
- ・おむつを含め様々な新しい商品が出ている。タイムリーに情報の収集が必要。本人の暮らしにあわせたものを利用し快適に暮らしていけるような情報を専門職から家族に提供できるようにしていきたい。
- ・市町でおむつ券の支給制度があるが、市町によってはおむつの種類を指定しているところがある。本人にあったおむつを選択できるとよい。
- ・実際に体験してみて正しいおむつの当て方をすることでこんなにもおむつ装着感（フィット感）が変わるものなのかということを実体験できた。
- ・現場では独自のいろんな方法で介護されているので適切な手法・スキルの均質化が課題。
- ・褥瘡予防は栄養も重要。アルギニン、ビタミン、タンパク、コラーゲンなどの摂取が必要。

みとりフェス in 草津イオンモール

2月3日(日)在宅療養・在宅看取り啓発イベント「みとりフェス」を開催しました。最新介護用具、介護食グルメのご紹介、在宅療養を支える専門職のお仕事紹介の他、ステージでは巨大看取りカルタ大会、みとりちゃん体操等々、子どもから高齢者まで在宅療養・在宅看取り情報を見て！聞いて！体験できる！楽しい1日になりました♪

次回のワーキンググループ会議

第71回ワーキンググループ会議

日時：平成31年2月14日(木) 18:30-20:00

場所：草津市立まちづくりセンター 201会議室

●話題提供「いきいきと暮らせる未来づくりに向けたリハビリテーション」

話題提供者：滋賀県立リハビリテーションセンター 所長 川上 寿一 先生

参加希望の方はメールでお申し込みください。



ご協力ありがとうございました！